

3月号

令和2年2月28日 発行



たかさんだより

杉並区立高井戸第三小学校 TEL 03(3302)0181 FAX 03(3302)6213 <http://www.suginami-school.ed.jp/takaido3shou/>

～生涯にわたって幸せな人生を歩むことができる児童の育成を目指して～
教育目標「すすんで考えやりぬく子 心ゆたかでたくましい子 なかよく助け合う子」

繋げていく心

校長 馬場 章弘

2月のある日、突然ある方からお手紙をいただきました。「前略 突然のお手紙を～」とはじまるお手紙、くださった方は本校の校歌の作詞作曲者である「服部 正」先生のご長男、服部 賢さんでした。服部先生がお亡くなりになってから楽譜の整理をし、自分で持っているよりはその曲のゆかりのある所に寄贈した方が大切にしてもらえと考え、あちこちに連絡を取っていらっしゃるのだそうです。

校歌そのもののピアノ伴奏譜は、校長室前の廊下に先生のお写真とともに展示してあります。今回出てきたのはマンドリンオーケストラ用の楽譜です。服部先生はもともと慶応大学のマンドリンクラブの指揮者をなさっていたのだそうです。そこから作曲の道に入り、数々の名曲をつくられたのだそうです。その曲の中でもっとも有名なのは「ラジオ体操第一」ではないでしょうか。

賢さんがおっしゃるには、服部先生が作詞も作曲も手掛けているのはとても珍しいのだそうです。しかもその当時の学校の風景をそのまま言葉に写し代えたような詩、それに合わせた曲。ご高齢の卒業生の方は、「昔はこうだったんだよ」と懐かしがる風景の詩です。「かなり思い入れがあったんだと思いますよ」と賢さんがおっしゃっていました。つくられたのは1949年(昭和24年)。「ラジオ体操第一」より2年も前のことです。その後先生はいくつもの学校の校歌の作曲をなさいましたが、学校の統合や廃校により歌われなくなってしまったものもあるそうです。いろいろな歴史をたどり、現在歌い継がれている高三小の校歌の重みを感じることができました。

令和元年度もあとわずか、3月の授業日数18日を残すのみとなりました。今年度も沢山の方々のお力添えをいただきました。学校支援本部、さんさんサポート、各町会・地域の方々、そして身内ではありますがPTAや学校運営協議会の皆さん、たくさんの方々のおかげで子供たちがのびのびまっすぐに成長することができました。本当にありがとうございました。

3月25日の卒業式で校歌を皆さんとともに歌い合いながら、高三小への思い、故郷への思いを繋げていきたいと考えています。



3月の生活目標

「一年間のまとめをしよう」

生活指導部

3月は、学校では総まとめの月にあたります。この一年間に、お子さんは様々な学習や体験活動、そして学校での行事を通して、心も体も大きく成長されたことでしょう。学習面や生活面で、できるようになったことや、以前よりも上手になったこと、あるいは意欲的に取り組んだことなど力をつけてきたことがたくさんあります。今年度も残りわずか。成長を実感するとともに、一日一日を大切に過ごして、進級や進学に向けての準備を進めていきましょう。ご家庭でも、学習面や生活面でできるようになったことを、お子さんと一つ一つ確認してみてもいいのではないでしょうか。